

「信頼できる海事デジタル社会構築に向けたセキュリティの役割」セミナー 開催案内

1. 開催日時： 令和 8 年 10 月 14 日（水） 15:00 – 17:30
2. 場所： 笹川平和財団(虎ノ門) 11階 国際会議室
3. 主催： 笹川平和財団 海洋政策研究所(OPRI)
4. 開催趣旨：

近年、AIS は船舶の航行安全や動静把握にとどまらず、港湾管理、物流、保険など幅広い海事活動を支える重要な情報基盤となっています。一方、現在の AIS には送信者を認証する仕組みがなく、情報の真正性や船舶 Identity の信頼性をどのように確保するかが新たな課題となっています。

こうした中、AIS を発展させた VDES の国際標準化と実用化が進められており、衛星通信による通信範囲の拡大に加え、AIS Authentication や S-100 を活用したデジタル海事サービスなど、新たな機能の導入が検討されています。

本セミナーでは、まず VDES を取り巻く国際動向、日本における衛星 VDES 実証の取組を紹介した上で、AIS 情報の利用拡大に伴うリスク、AIS Authentication の意義、将来の海事デジタル化において求められる「信頼できる海事情報」について、海運・海事関係者とともに考えます。

5. プログラム：

（司会進行： OPRI 渡辺忠一）

15:00-15:05 開会・開催趣旨説明（海洋政策研究所副所長 渡邊敦）

15:05-15:20 【基調講演】海事デジタル化がもたらす新たなリスク - AIS情報の信頼性を考える
（神戸大学大学院 海事科学研究科附属国際海事研究センター リサーチフェロー 羽原敬二）

15:20-15:35 【講演1】VDESとは何か — AISから発展する次世代SOLAS船舶設備
（日本無線株式会社 マリンシステム事業部 プロジェクト管理部 専門部長 宮寺好男）

15:35-15:50 【講演2】VDESを使ったAIS認証のしくみ
（株式会社スターヌラ・ジャパン 渡部浩章）

15:50-16:00 <休憩>

16:00-16:15 【講演 3】実例から見る異常・偽装・なりすまし
（Kpler Senior Commercial Manager 山田優）

16:15-16:30 【講演4】船舶保険におけるサイバーリスクへの対応
（損害保険ジャパン株式会社 海上航空保険業務部 船舶グループ 課長代理 橋場聖）

16:30-16:45 【講演5】衛星VDES有益性実証プロジェクト中間報告
（株式会社スターヌラ・ジャパン 西村浩一）

16:45-17:25 【パネルディスカッション】（会場との総合質疑応答）

モデレータ： 斎藤直樹（日本海事協会 検査本部 船舶管理システム部 部長）

パネラー： 宮寺好男、山田優、橋場聖、西村浩一

会場との総合質疑応答

まとめ

17:25-17:30 事務連絡